

病院および診療所における薬局との連携に関する調査

近年、住民各々に良質な医療を提供するために、多様な専門職や医療機関が互いに協働して患者中心のケアを目指す多職種連携の実践が求められています。しかし、病院および診療所と薬局との連携状況に関する研究は少ないです。本研究では、病院および診療所側から見た薬局との連携に関する現状や意識を明らかにするためにアンケート調査を行いました。

2016年10月1日から2016年12月6日の間に岐阜市に所在地を置く全ての医療機関391院を調査対象としました。ただし、2016年9月1日現在で休止となっている診療所4院は除外し、最終的に387院を解析対象としました。調査項目は薬局薬剤師を含めた地域ケア会議・サービス調整会議への参加、薬局薬剤師を含めた症例検討会、薬局との合同研修会・勉強会、薬局との患者・市民向け企画、医療情報連携ネットワークによる薬局との情報共有、在宅・訪問診療への薬局薬剤師の同行の実施および今後の考えとしました。病院および診療所全体として、病院・診療所で層別化を行い比較しました。

病院および薬局による層別化比較の結果を表1に示しました。現状での連携体制について、II. 症例検討会および III. 合同研修会・勉強会の実施割合は診療所よりも病院の方が有意に高くなりました。連携の今後の考えについて、I. 地域ケア会議・サービス調整会議、II. 症例検討会、III. 合同研修会・勉強会、IV. 患者・市民向け企画、V. 医療情報連携ネットワークによる情報共有の実施を考えている割合は診療所よりも病院の方が有意に高くなりました。患者に関する情報提供の希望について、(3) 医薬品の保管・管理の状況および (4) 麻薬の保管・管理および取り扱い状況を希望する割合は診療所よりも病院の方が有意に高くなりました。薬局の取り組みの希望について、[2] 多職種が集まる会への参加を希望する割合は診療所よりも病院の方が有意に高くなりました。

今回の調査結果より、現在は病院および診療所ともに薬局との連携をあまり行っていないこと、今後は診療所に比べて病院は薬局との連携を積極的に実施しようと考えていることが明らかになりました。

【発表論文】

伊野陽子, 上野杏莉, 舘知也, 大坪愛実, 勝野隼人, 杉田郁人, 兼松勇汰, 吉田阿希, 野口義紘, 堺千紘, 井口和弘, 川上ちひろ, 藤崎和彦, 寺町ひとみ, 病院および診療所における薬局との連携に関する調査, 医療薬学, 43, 533-551, 2017.

表 1 病院と診療所の比較

	実施		P
	病院	診療所	
【1】現状での連携体制			
I. 地域ケア会議・サービス調整会議	16.7% (3/18)	9.3% (16/172)	0.398
II. 症例検討会	33.3% (6/18)	10.5% (18/172)	0.014*
III. 合同研修会・勉強会	61.1% (11/18)	31.4% (55/175)	0.017*
IV. 患者・市民向け企画	16.7% (3/18)	7.5% (13/174)	0.178
V. 医療情報連携ネットワークによる情報共有	27.8% (5/18)	11.7% (20/171)	0.069
VI. 在宅・訪問診療への薬剤師の同行	5.6% (1/18)	8.6% (15/174)	1.000
【2】連携の今後の考え			
	実施を考えている		P
	病院	診療所	
I. 地域ケア会議・サービス調整会議	66.7% (12/18)	24.4% (41/168)	<0.001*
II. 症例検討会	66.7% (12/18)	36.3% (62/171)	0.020*
III. 合同研修会・勉強会	82.4% (14/17)	51.7% (90/174)	0.020*
IV. 患者・市民向け企画	61.1% (11/18)	21.9% (37/169)	0.001*
V. 医療情報連携ネットワークによる情報共有	75.0% (12/16)	41.3% (71/172)	0.016*
VI. 在宅・訪問診療への薬剤師の同行	27.8% (5/18)	21.2% (36/170)	0.550
【3】患者に関する情報提供の希望			
	希望する		P
	病院	診療所	
(1) 服薬状況	88.9% (16/18)	82.3% (144/175)	0.743
(2) 健康食品・サプリメントの服薬状況	72.2% (13/18)	59.2% (103/174)	0.323
(3) 医薬品の保管・管理の状況	94.4% (17/18)	71.4% (125/175)	0.046*
(4) 麻薬の保管・管理および取り扱いの状況	100% (18/18)	62.4% (106/170)	<0.001*
(5) 副作用のモニタリング状況	88.9% (16/18)	78.3% (137/175)	0.374
(6) その他の患者に関する情報	72.2% (13/18)	59.3% (99/167)	0.323
【4】薬局の取り組みの希望			
	希望する		P
	病院	診療所	
[1] 患者に関する情報の共有	77.8% (14/18)	73.1% (128/175)	0.785
[2] 多職種が集まる会への参加	77.8% (14/18)	39.7% (69/174)	0.002*
[3] 処方内容に関する提案	77.8% (14/18)	56.6% (99/175)	0.130
[4] 患者への医療材料・衛生材料の供給	66.7% (12/18)	54.6% (95/174)	0.456
[5] 患者への医療機器の供給または貸与	61.1% (11/18)	40.5% (70/173)	0.131
【5】多職種連携コンピテンシーの実施状況			
	できている		P
	病院	診療所	
A. 患者・利用者・家族・コミュニティ中心	33.3% (6/18)	44.9% (79/176)	0.457
B. 職種間コミュニケーション	50.0% (9/18)	46.9% (82/175)	0.810
C. 職種としての役割を全うする	83.3% (15/18)	72.4% (126/174)	0.409
D. 関係性に働きかける	44.4% (8/18)	51.4% (90/175)	0.627
E. 自職種を省みる	55.6% (10/18)	53.4% (93/174)	1.000
F. 多職種を理解する	50.0% (9/18)	57.7% (101/175)	0.620
【6】多職種連携コンピテンシーの実施の重要性			
	重要である		P
	病院	診療所	
A. 患者・利用者・家族・コミュニティ中心	88.9% (16/18)	83.3% (145/174)	0.743
B. 職種間コミュニケーション	100% (18/18)	85.1% (149/175)	0.139
C. 職種としての役割を全うする	100% (18/18)	89.1% (156/175)	0.225
D. 関係性に働きかける	100% (18/18)	83.3% (145/174)	0.080
E. 自職種を省みる	100% (18/18)	89.7% (157/175)	0.384
F. 他職種を理解する	100% (18/18)	88.5% (154/174)	0.225

*P<0.05 Fisherの直接確率検定